

# 向原町会

向原町会は豊島区と練馬区に隣接し、向原1丁目から3丁目で構成されています。町会(会員数約500世帯)が設立された昭和34年当初は、この一帯は農村地帯でしたが、昭和62年に町会の中央を放射36号道路が通り、その地下を地下鉄有楽町線と新線が通り、小竹向原駅ができ、マンションなどが立ち並び、世帯数が増えるとともに緑多き静かな街並みへと変貌しました。一時は36道路による町会分断の危機もありましたが、道路完成後は親睦が深まり、現在では3,600世帯超えの町会へと発展しました。

防災訓練、防犯、交通安全運動、リサイクル運動やクリーンデーなどの地域活動のほかに、夏はラジオ体操と納涼盆踊り、秋は向原八雲神社との共催で祭礼を行い、大谷口支部運動会やフェスティバルにも参加してまいりました。しかし、令和2年春からのコロナ禍により町会行事が実施できず、町会活動の見直しを迫られております。今後はwithコロナの時代に合った会員親睦を深める町会活動を進めてまいります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています

**向原もちつき保存会による  
もちつき実演の様子**

